

令和8年4月23日14時00分

近畿地方整備局  
兵庫国道事務所

## 国道28号<sup>すもと</sup>洲本バイパス 令和10年夏に開通します

～ 洲本市<sup>すもと</sup> 炬口<sup>たけのくち</sup>から宇山間<sup>うやま</sup>(延長2.4km) 開通見通しの公表 ～

- 一般国道28号<sup>すもと</sup>洲本バイパス(延長6.0km)は神戸淡路鳴門自動車道<sup>こうべあわじなると</sup>洲本IC<sup>すもと</sup>へのアクセスを強化し、洲本市<sup>すもと</sup>内の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的とした道路であり、開通済みの区間を除く洲本市<sup>すもと</sup> 炬口<sup>たけのくち</sup>から宇山間<sup>うやま</sup>(延長2.4km)の全線で工事を推進しています。
- 令和8年4月には「<sup>たぶつがわばし</sup>陀仏川橋」(仮称)の橋台ができあがり、橋桁を架設する工事に着手する準備が整うなど、着々と工事が進捗しているところです。
- この度、現在の工事進捗を踏まえ工程を精査した結果、順調に工事が進んだ場合には、洲本バイパスが令和10年夏に開通する目処が立ちましたのでお知らせします。

### ■開通時期の公表(洲本市<sup>すもと</sup> 炬口<sup>たけのくち</sup>～宇山<sup>うやま</sup>:延長2.4km)

＜現在＞  
工程精査中      ⇒      ＜工程精査後＞  
令和10年夏開通

＜取扱い＞

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ  
兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ、淡路島記者クラブ

＜問合せ先＞ 近畿地方整備局 兵庫国道事務所  
副所長 寺西 陽一郎(てらにし よういちろう)  
計画課長 島田 裕仁(しまだ ゆうと)  
TEL 078-334-1600(代表)

すもと だぶつ がわ  
国道28号洲本バイパス 陀仏川橋(仮称) 施工状況

■ 陀仏川橋 (仮称) 施工現場全景



■ A1橋台



■ A2橋台



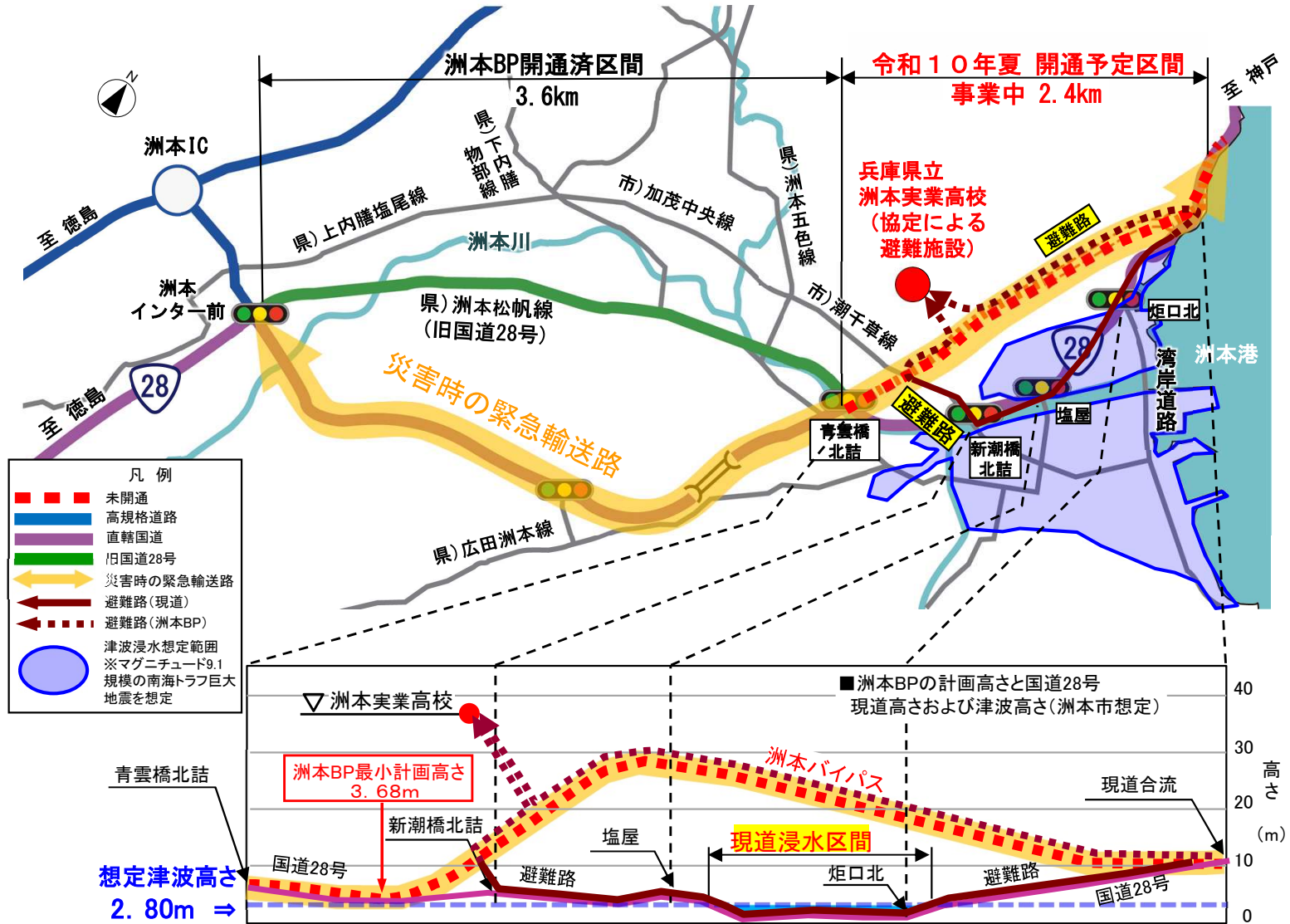


# 期待されるストック効果

## ◇災害時の代替路確保

- 平成16年の台風23号では、旧国道28号及び国道28号が冠水し通行止めとなったが、開通済区間が現道の代替路として機能
- 未開通区間の国道28号の一部が、南海トラフ巨大地震時の津波浸水想定範囲に位置
- 洲本バイパスの計画高さは、想定津波高さよりも高く、災害時の避難路及び緊急輸送路として機能

### 【洲本市の標高と津波高さ(兵庫県想定)】



・高台にある洲本実業高校に避難する場合、現状では大型車の通行ができないが、洲本バイパスの整備により、大型車の通行が可能となり、救援物資の輸送や大型バスによる避難など、円滑な避難が可能になる。

洲本市都市整備部ヒアリング(R7.10)



写真① (平成16年10月20日撮影)

# 期待されるストック効果

## ◇地域医療の支援

- 洲本インター前交差点から淡路島唯一の三次救急医療施設までの到着時間は、開通前の約16分から現況で約13分に短縮されており、全線開通するとさらに約11分まで短縮
- 重症救急患者に対応する三次救急医療施設へのアクセス性の向上が期待されます



〈洲本IC前交差点～淡路医療センター〉

	所要時間	短縮時間
開通前	約16分	—
現況(部分開通)	約13分	3分短縮
全線開通	約11分	2分短縮

- ・現国道28号は、交通量が多く道幅が狭いため、混雑時に通行しにくい場合があります。
- ・洲本バイパスの部分開通でルートを選択肢が増え、消防・救急活動がしやすくなりました。
- ・洲本バイパスの全線整備で交通が分散し走行しやすくなるほか、南海トラフ地震時にも有効な幹線道路となることを期待します。

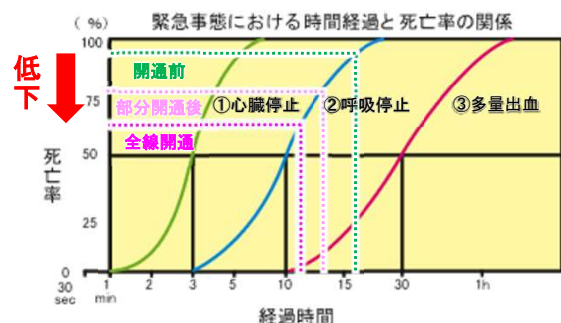
淡路広域消防事務組合ヒアリング(R7.8)

## ▼淡路医療センター(三次医療施設)



出典：兵庫県立淡路医療センターHP

## ▼緊急事態における時間経過と死亡率の関係



※旅行速度

旧国道28号：平成9年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度  
 その他の道路：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度  
 全線開通後の洲本バイパスは設計速度60km/h

